

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	1	音楽完全入門	4単位	通年
指導講師	澤田 若菜 / 松井 千恵子			
授業のテーマ	「入門」という文言を含めた授業は本当に<ゼロ>から始めるための内容になっています。音楽の基本の「基」を学んでいきましょう。			
授業計画及び内容	<p>楽典やソルフェージュを本格的に学ぶ前段階としての初心者向けの授業です。</p> <p>▼音符や休符、ト音記号や#bなどの各記号について ▼音階（ドレミファソラシド）について ▼拍子（リズム）の仕組みについて などを時間をかけてゆっくり丁寧に学びます。</p> <p>それらの基礎的な項目を学習して行き、『楽譜の読み・書き』を体験し、少しずつ音や楽譜になれること事を目指しましょう。 ※東 佑樹先生の授業ではDTMソフトなどをを使って学びます。</p> <p>全くの初心者の方でも大丈夫です。 基礎に重点を置いて進めますので、楽典の最後の項目まで学習する事は目的としていない授業です。</p>			
教材・参考書	各指導講師に準じます。			
成績評価の方法	各指導講師に準じます。			
履修上の指示	これから初めて音楽を学ぶ方はもちろん、楽譜に自信が無い方もお褒めいたします。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	2	楽典（月曜日/オンライン・土曜日/対面）	4単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	一般的な音楽理論の習得			
授業計画及び内容	<p>どんなジャンルの音楽でも、ドレミ等を使用して作曲し、キー（音階）を使用してコードや和声を理解する。そして、様々な授業のほとんどが、楽譜を利用して、相互理解をしていく。その、授業を確実に理解するために必要な、楽譜の基本、音楽理論の基本をこの授業で学んでいく。講義だけを聴講するだけではなく、授業内で学習内容を実践しながら進めていくスタイルで、確実に楽譜を扱えるようにする。音楽理論を、一時間の中で「知る」ところから始まり、問題を実施し「わかる」状態に、そして経験値を高め「出来る」ところまで授業内で行う。そのため、基本的には宿題がなく、授業内で消化する形をとるため、通年の授業とする。前期：楽譜の基本、音名、音階 後期：音程、和音、調関係、調判定、拍子など。</p>			
教材・参考書	「楽典」という教材を既に持って入れば持参。無くても問題はない。			
成績評価の方法	前期・後期それぞれに試験を開催			
履修上の指示				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	3	ソルフェージュ（月曜日/オンライン・土曜日/対面）	4単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	ミュージシャン全てに必要な音感、リズム感を体得する。			
授業計画及び内容	音楽における「才能」と呼ばれる部分は、主に音感やリズム感などだ。この「才能」を生まれ持っている人は幸いだが、この才能と戦ってきた、才能がそうでもない数々の無名な音楽家達が、自らの音楽的能力を高めるべくして生まれた学習方法を総称したものが、「ソルフェージュ」と呼ばれている。手法やテキストは様々あるが、自らの演奏力を高めるにも、音楽創造における音楽理解にも、この「ソルフェージュ」は欠かせない。音感やビート感を高めるための、実践的な授業となるため、多くの経験を重ねる必要から、通年授業とする。			
教材・参考書	各指導講師に準じます			
成績評価の方法	各指導講師に準じます			
履修上の指示	特になし			

番号：学科目名	4	聴音初級	4単位	通年
指導講師	富沢 颯斗			
授業のテーマ	基礎的な聴音能力の育成			
授業計画及び内容	<p>聴音課題の実践（入門～初級レベル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単旋律</li> <li>・複旋律（2声）</li> <li>・和声（4声体）</li> <li>・その他</li> </ul> <p>※未経験者の履修も可能です。 ※オンラインでの受講も可能です。</p>			
教材・参考書	授業内で指示			
成績評価の方法	出席状況等			
履修上の指示事項	筆記用具・五線ノートを持参してください。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	5	コード入門	4単位	通年
指導講師	池田 公生 / 園田 優			
授業のテーマ	「入門」という文言を含めた授業は本当に<ゼロ>から始めるための内容になっています。コード（和音）についてしっかりと理論と構造を覚えていきましょう。			
授業計画及び内容	<p>▼音の重なり（音程） 「音程」をメインに、ここでしっかりと学んでいきましょう。</p> <p>▼「C」とはドミソで構成（トライアド） コード表について触れていきます。 まずは「C」～「B」の世界を、しっかりと覚えていきましょう。 基本の構成を理解し、majorとminorコードも学んでいきます。</p> <p>▼ドミソシbで「C7」（セブンスコード、シックスコード） 音が重なっていくことで響きが変わっていくことを実感していただきます。 構造を覚えていきましょう。</p> <p>▼ドレミファソラシドのスケール 長調（major）スケールを中心に、まずは「音」とは何かを学んでいきましょう。 理解ができれば、短調（minor）に進んでいきます。</p>			
教材・参考書	各指導講師に準じます			
成績評価の方法	各指導講師に準じます			
履修上の指示	特になし			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	6	コード総合	4単位	通年
指導講師	則岡 徹			
授業のテーマ	楽曲に含まれるコード（和音）やスケール（音階）、コード進行についての理解を深め、基礎的な演奏力を身につけるまで学んでいきます。			
授業計画及び内容	<p>楽曲のメロディー、コードとベースの演奏と、解説を聞くことによって、コードやスケールに対する理解を深めていきます。 毎回の授業は、演奏と解説の両方を織り交ぜて進めていきます。</p> <p>担当の先生によって授業内容は異なりますが、予めご了承ください。</p> <p>【備考】 「コード入門」を修了した方のステップアップにおすすめです。 もちろん「コード総合」からスタートすることも可能ですので自身に合った講座を選択しましょう。</p>			
教材・参考書	プリント配布			
成績評価の方法	前期・後期それぞれの試験（筆記と実技）の結果と、出席状況			
履修上の指示	特になし			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	7	コードドリル	4単位	通年
指導講師	欠田 芳憲			
授業のテーマ	両手でコード（和音）が弾けるようになるためのコードのトレーニングです。			
授業計画及び内容	<p>コードについての基礎知識を交えて、2声、3声、4声のコードを5段階のステップのドリルで確実に弾けるようにトレーニングします。</p> <p>両手の指感覚を磨き、コードチェンジに素早く反応できるようにします。</p>			
教材・参考書	オリジナルのコード教材を使用します。教材費が別途かかります。			
成績評価の方法	出席数と課題に取り組む姿勢を評価します。			
履修上の指示事項	コード奏法が苦手な方へおおすすめの授業です。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	8	耳コピ講座	4単位	通年
指導講師	竹内 義晴			
授業のテーマ	イヤホンで曲を聞きとりながら譜面を書く練習をします。			
授業計画及び内容	<p>ドリル形式の実践授業です。 スマホ、スマホアプリ、イヤホンを持参してください。</p> <p>前期 楽曲：ポップス、主にピアノ、歌のみの楽曲でのピアノ書き譜、もしくはコード譜の耳コピ作成、皆で演奏(ワンコーラス程度)</p> <p>後期 楽曲：ポップス、バンド編成の楽曲でのピアノ書き譜、もしくはコード譜の耳コピ(ワンコーラス程度)</p> <p>対象 鍵盤奏者、主に書き譜(玉譜)は読める自身で作成したことのない人 自分の耳で聴いて譜面を作成できるようになってみよう！</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	9	ポップス・ジャズ理論	4単位	通年
指導講師	池田 公生 / 保科 篤志			
授業のテーマ	PopsからJazzまで、音楽理論を理解しコード進行やメロディーの作り方などを学び実践的に使えるようにする。			
授業計画及び内容	<p>馴染みのあるポップスやジャズ・スタンダードの楽曲を題材にしなが、コードやスケールなどの理論を学び、作曲や演奏活動に役立つスキルを身に付けられるようにします。</p> <p>初心者にも安心な、基礎から始めるわかりやすい授業です。</p> <p>美しくセンスの良いコード進行、人の心を魅了するメロディーやアドリブ（即興演奏）などを実践的に使えるように学びます。</p> <p>バンドで演奏活動をする人、アドリブを出来るようになりたい人、ジャズを演奏出来るようになりたい人、作曲をする人にとってもお勧めの授業です。</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	10	誰でもできるイヤートレーニング	4単位	通年
指導講師	保科 篤志			
授業のテーマ	音楽全般において最も必要な「聴きとる」能力を鍛えます。同時に個人の日々の訓練・トレーニング法を教えサポートします。原則今まで音感教育を受けた経験があまりない方が対象です。（経験があっても受講できます）			
授業計画及び内容	<p>この授業は今まで音感教育を受ける機会があまりなかった初心者向けの「耳を鍛える」という事に特化した授業です。相対音感を鍛えて、一つの基準となる音（トータルセンター）に対しての別の音・フレーズ・コード等を瞬時に認識し聴きとるという能力を鍛えていきます。</p> <p>音対音の響きの特徴や聴き分け方を知り、あらゆる状況で、音・音程・フレーズ・コード等を聴きとるコツを実践的に学んでいき、聴きとる速さ（瞬発力）を鍛えていきます。</p> <p>また歌うトレーニングによって、楽器などを使わず自分のイメージの中だけで、トニック音（主音）に対してのスケール（音階）上のすべての音をしっかりと認識できるように訓練していきます。</p> <p>それによって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲するとき楽器がなくても頭に思い浮かんだフレーズやコード等が瞬時にはっきりと認識できる。</li> <li>・楽器で即興演奏をする時に頭に浮かんだフレーズを瞬間的に正確に再現できる。</li> <li>・耳コピをする時間が大幅に短縮できるようになる。</li> </ul> <p>などというような能力がすこしずつ身に付いていくのです。</p> <p>※この授業はKeyのトニック音に対しての相対音感を鍛える為の授業で、絶対音感を付ける、或いは鍛える為の授業ではありません。すべてのKeyにおいて移動ドで聴きとり歌う練習をする授業です。その点において、すべて実音で聴きとり歌う訓練をするソルフェージュとは全く趣旨が違う授業です。特に絶対音感がある方は、</p>			
教材・参考書	プリント配布			
成績評価の方法	出席率・学習態度・試験結果 等総合での評価			
履修上の指示事項	授業出席だけではレベルアップしません。短時間であってもコンスタントな日々の個人レベルでの訓練が何より大切です。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	11	リズムトレーニング	4単位	通年
指導講師	ティム・ドナヒュー			
授業のテーマ	リズム感をレベルアップしたい方の為の授業です。体でリズムとテンポを感じるようになる訓練をします。リズム感がしっかりすればするほど、音楽作りや楽器演奏をますます楽しむことができます。			
授業計画及び内容	<p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベーシックリズムトレーニング、4・3拍子のリズムの書き方と読み方</li> <li>2. 体でリズムとテンポの感じ方、訓練</li> <li>3. ポリリズム（複数のリズム）、訓練</li> <li>4. 変拍子訓練をスタート</li> </ol> <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Rock、Jazz、Classicalなどの音楽スタイルの中で、変拍子が含まれる曲を分析</li> <li>2. 変拍子に慣れるための訓練</li> <li>3. 指揮を学ぶ（ストラヴィンスキーなど）</li> </ol> <p>授業はベーシックレベルのリズム訓練から始まりますが、だんだんレベルアップして変拍子に慣れるまで訓練する予定です。</p>			
教材・参考書	適宜、プリント配布			
成績評価の方法	出席数・授業態度等を含めた総合評価。年度末の試験。			
履修上の指示	基礎的な音楽理論の理解と読譜力が必要です。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	12	音大受験 模擬試験	4単位	通年
指導講師	園田 優			
授業のテーマ	各音大、芸大の受験の模擬試験			
授業計画及び内容	<p>模試形式による、ソルフェージュ実践授業です。 時間内にソルフェージュの各科目に取り組み、実力を確実に身に付けていきましょう。</p> <p>音大受験を考える方などを対象とします。</p> <p>基本的には楽典などの知識がある方を対象としますが、この授業を通して自分の実力のバランスを確認することで、必要な授業の紹介をすることも可能です。</p> <p>また、各楽器による指導者を目指す方や、通常のソルフェージュ授業より一歩進んだ実力を望む方も受講可能です。</p>			
教材・参考書	適宜指定。			
成績評価の方法	総合評価。			
履修上の指示	聴音課題の録音に用いる録音機器を持参すること。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	13	音大予備校 オンライン	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	主に音大受験楽典について項目別に解説します。			
授業計画及び内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音名</li> <li>2. 音程 1</li> <li>3. 音程 2 と倍音</li> <li>4. 調と音階 1</li> <li>5. 調と音階 2</li> <li>6. 和音 1</li> <li>7. 和音 2</li> <li>8. 旋律調判定 1</li> <li>9. 旋律調判定 2</li> <li>10. 移調</li> <li>11. 基本の知識</li> <li>12. 基本の知識</li> <li>13. 楽語</li> <li>14. まとめ</li> </ol> <p>※ソルフェージュや聴音、コールユーブンゲンの勉強方法は適宜解説します。</p>			
教材・参考書	「パーフェクト楽典ハンドブック」「パーフェクト・ソルフェージュ」ドレミ楽譜出版社 「コールユーブンゲン」大阪開成館発行			
成績評価の方法	出席数と授業態度において評価します。			
履修上の指示	音大受験だけに限らず、楽典を基礎から学びたい方にもお勧めの内容です。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	14	音楽理論相談室	4単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	音楽理論関係のさまざまな問題について対応する			
授業計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽典の内容についての説明や問題演習</li> <li>・新曲視唱・聴音・ピアノの初見奏等、ソルフェージュの内容についての課題実施</li> <li>・バス課題・ソプラノ課題・和音分析等のクラシックのジャンルにおける「和声」についてについて課題の添削や説明</li> <li>・声楽や器楽の伴奏・リトミックや音楽療法のピアノ伴奏について難しい箇所の対応</li> <li>・作曲や編曲について</li> <li>・その他の内容の質問や相談</li> </ul> <p>など、履修者一人ひとりに使える時間は短くなってしまいう可能性がありますが、個別に課題の実施や疑問、お悩みに対応させていただきます。</p> <p>履修登録の状況と登録者それぞれの希望によってどのように進めていくかわ変わってきます。</p> <p>仮授業以降詳細についてはご相談させていただきます。</p>			
教材・参考書	取り組む内容により、適宜指示。			
成績評価の方法	出席数よりも、この授業を通して何らかの学びにつながったかという観点で評価。			
履修上の指示事項	特になし			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	15	ロックの歴史	4単位	通年
指導講師	オータケハヤト			
授業のテーマ	音楽を奏でるプレイヤー、音楽制作をする作編曲家、ロック、ポップス、歌物に関して、音楽構造、概念知識を知りたい方必見。			
授業計画及び内容	<p>全ての学生が対象です。          60年 70年代 80年代 90年代 2000年代、ブルース・ロックンロール・フォーク・カントリー・ソウル・ファンク・スカ・レゲエ・パンクロック・ハードロック・プログレッシブロック・AOR・グラムロック・メタル・ニューウェーブ・HIP HOP R&amp;B・流行やファッション、経済、文化等の発展の中、さまざまなジャンルは生まれてきました。          演奏する皆さん、音楽制作をする皆さん。レコーディングエンジニアを目指す皆さん、PAを目指す皆さん、音楽家のために必要な知識です。ギター・ベース・ドラム・ピアノ・DTM・作編曲・サウンドプロデューサーの仕事には特に、「リズム感・音作り」・「ボイシング計算・コード進行を練っていく編曲能力」・全て必要になってきます。時代背景と楽器の特性からくる音色作りがそれらのジャンル感を作り出します。「狙って作りたい作品」に合わせたアウトプットをするわけです。そのほかに、音源などを紹介したり、DTM知識、作編曲やレコーディング・MIX作業で行われていることなど、混ぜながらの60分の講義スタイルになります。</p>			
教材・参考書	PDF資料にて、配布			
成績評価の方法	音楽研究が好きであること。			
履修上の指示事項	音楽視聴・歴史・知識・講義スタイル			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	16	西洋音楽史（前期）/オペラの歴史（後期）	6単位	通年
指導講師	箕輪 健太			
授業のテーマ	西洋音楽は今から1000年以上前より脈々と現代まで変化を続けてきています。その歴史を知れば自身が学んでいる音楽をより深く探求できます。前期では中世から近代までの音楽の歴史的な流れを学び、後期では、現在でも西洋音楽の中心にあるオペラの歴史を学びます。			
授業計画及び内容	<p>前期では西洋音楽の歴史を年代に沿って、各年代に活躍した作曲家を紹介しながら当時の歴史的背景を交えて学んでいきます。</p> <p>また、その歴史の中で作られてきた音楽の大切な技法（対位法、ソナタ形式、など）にも触れていきます。また時には「オーケストラの歴史」や「指揮者の歴史」なども取り上げる予定です。</p> <p>後期は西洋音楽の中心でもある「オペラ」の歴史にスポットを当てて学んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラの最古の作品は？</li> <li>・一番長いオペラ作品は？</li> <li>・オペラとミュージカルは親戚？etc……</li> </ul> <p>このような疑問などをオペラの歴史を学びながら紐解いていきたいと思えます。前期、後期ともにCD、映像をたくさん視聴しながらの授業を進めていきます。</p>			
教材・参考書	適宜、プリントを配布します。			
成績評価の方法	出席状況と学習に取り組む姿勢。期末毎に簡単なレポートをお願いすることがあります。			
履修上の指示	西洋音楽が好きな方、興味がある方、オペラが好きな方などさまざまな方が履修できます。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	17	ピアノ音楽史①	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	ピアノを演奏、調律、鑑賞する人を対象とした授業です。 通常のピアノ音楽史では扱わない作曲家が使用したピアノについても言及します。 ピアノが発明されてから近代までのピアノの改良史とそれぞれの時代の作曲家とその作品における奏法の変化を探ります。			
授業計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピアノが発明されるまでの楽器の構造と音楽</li> <li>○ピアノの発明と音楽 クリストフォリのピアノの徹底解明</li> <li>○J.S. バッハ、ヘンデル、スカルラッチェの作品と鍵盤楽器</li> <li>○ハイドンの作品と鍵盤楽器 シャンツのピアノとイギリス・アクションのピアノ</li> <li>○モーツァルトの作品と鍵盤楽器 シュタインとヴァルターのピアノ</li> <li>○フンメルウィーンアクションのピアノと作品 古典派ピアノ技巧の集大成</li> <li>○ベートーヴェンの使用したピアノと作品 エラール、シュトライヒャー、ブロードウッド、グラーフ</li> <li>○ウェーバーのピアノと作品 ウィーン・アクション 華麗なピアノイズムの開発</li> <li>○メンデルスゾーンピアノのピアノと作品 流麗な技巧と感傷性</li> <li>○シューベルトのピアノと作品 歌謡性と音楽形式</li> <li>○シューマンのピアノと作品 幻想・文学・抒情・詩的</li> <li>○ショパンのピアノと作品 プレイエル、エラール、ブロードウッド</li> </ul>			
教材・参考書	「ピアノ音楽史Ⅰ」「ピアノ音楽史Ⅱ」「ピアノ演奏資料集」 (日本J.N. フンメル協会) 各2,000円			
成績評価の方法	出席数と授業態度において評価します。			
履修上の指示	音楽史を初めて履修する人から上級者までの幅広い層を対象とします。 ピアノの演奏レベルはまったく問いません。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	18	ピアノ音楽史②	4単位	通年
指導講師	岳本 恭治			
授業のテーマ	ピアノ音楽史①に引き続き、ピアノを演奏、調律、鑑賞する人を対象とした授業。 通常のピアノ音楽史では扱わない作曲家が使用したピアノについても言及します。 ピアノが完成する1830年以降の作曲家の作曲技法、ピアニストの奏法の変遷について学びます。			
授業計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サン＝サーンスのピアノ協奏曲に見るピアノ奏法の発展</li> <li>○ムソルグスキーの反西ヨーロッパ技法</li> <li>○チャイコフスキーが開発したピアノ技法</li> <li>○グリーグのピアノ協奏曲と抒情小曲集</li> <li>○フォーレの技法とピアニスト・マルグリット・ロンの演奏法</li> <li>○スペイン楽派の作曲家とピアニストたち</li> <li>○ドビュッシーの作曲技法とピアノイズム</li> <li>○サティの諧謔やユーモアの表現法</li> <li>○スクリャービンの色彩と調への関連</li> <li>○ラフマニノフ・最後のロマン派</li> <li>○ラヴェルの精巧なピアノ技法</li> <li>○シェーンベルクの12音技法</li> <li>○バルトークの民族性とリズム</li> <li>○プロコフィエフのピアノ・ソナタとピアノ協奏曲の技法</li> <li>○プーランクの新古典主義</li> <li>○メシアンと鳥の生態</li> </ul>			
教材・参考書	「ピアノ音楽史Ⅱ」「ピアノ音楽史Ⅲ」「ピアノ演奏資料集」 (日本J.N. フンメル協会) 各2,000円 岳本恭治			
成績評価の方法	出席数と授業態度において評価します。			
履修上の指示	音楽史を初めて履修する人から上級者までの幅広い層を対象とします。 ピアノの演奏レベルはまったく問いません。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	19	ピアノ名曲探訪	4単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	楽しみながら、さまざまなピアノ作品に関する知識を深めていく。			
授業計画及び内容	<p>ピアノを弾いたりピアノ曲を聴くのが好きだという人は、名曲を集めたCDやラジオ、テレビ番組などでいわゆる有名な曲に触れる機会が多いことでしょう。</p> <p>この時間は、有名な曲はもちろん（でもほどほどに）、あまり知られてはいないけれども名曲という作品も色々探して、実演しながら紹介させていただく予定です。</p> <p>皆さんと名曲探訪の時間を共有したいと考えています。</p> <p>単位として認められるかは各科の規定によりますが、ピアノ曲に興味がある方はどなたでも授業をのぞきにきてください。</p> <p>通年で200～300曲程度とりあげる予定です。</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法	出席数			
履修上の指示	鑑賞の授業です。どなたでも履修できます。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	20	名曲から世界をながめよう	4単位	通年
指導講師	竹内 真紀			
授業のテーマ	名曲から世界をながめよう			
授業計画及び内容	<p>私達は何故、こんなに音楽に惹かれ、音楽と共に生きているのでしょうか？</p> <p>表現せずにはいられないほど強い、人間の様々な感情や想い、苦しみ、喜び。その結晶が音楽です。音楽を聴けば、人間、歴史が見え、文化を感じ、世界をみることが出来ます。そして、何年経っても色褪せない魅力があり、現代の私たちに生きるヒントを与えてくれるのが、クラシックの名曲たちです。</p> <p>このクラスでは、そんな名曲を取り上げ、その背景に迫り、人間、歴史、文化を読み解きます。そして、時には演奏することを通して、自己表現を考えます。</p> <p>名曲から世界をながめ、みんなで楽しく表現を考えていきましょう！</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法	出席状況など			
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	21	管弦楽史	4単位	通年
指導講師	飯吉 高			
授業のテーマ	名だたる大作曲家の名作を鑑賞し、歴史と共に様々な音楽や楽器のことを知っていきましょう。			
授業計画及び内容	<p>オーケストラ音楽の歴史は、非常に興味深いものがあります。 聴衆が、貴族から大衆への変化、楽器の進化、新しい楽器の開発などの要素がきっかけとなりつつ、音楽のスタイルもバロック、古典派、ロマン派、民族楽派、近代、現代へと変化し、編成も巨大化していきました。</p> <p>名だたる大作曲家の名作を鑑賞し、歴史と共に様々な音楽や楽器のことを知っていきましょう。</p> <p>授業内容は、作曲家の生涯、楽器の特徴を学びながら、鑑賞が中心となります。</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示	用意するものは特にありません。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	22	日本歌謡史、童謡・唱歌史	4単位	通年
指導講師	池田 公生			
授業のテーマ	明治維新以降の日本の音楽史を、歴史とともに紐解き学んでいこう。			
授業計画及び内容	<p>明治維新により、政府は富国強兵策のひとつとして西洋音楽の教育を取り入れたものの、当時の日本人で西洋音楽を知る者は誰一人として居ませんでした。</p> <p>様々な困難を乗り越え生み出されてきた日本歌謡史、その時代背景とともに歴史に従って学びます。 明治から昭和の時代の名曲の数々をいっしょに歌って楽しみましょう。</p> <p>毎回のテーマが設定されており、そのテーマの内容に従った曲の楽譜を配布します。 曲を知る事も大事な勉強になります。一年間で250曲程度の曲を学びます。</p>			
教材・参考書	楽譜・資料は授業にて適宜配布・紹介。			
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、提出物、発表をもとに評価。			
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	23	ドラマと音楽史	4単位	通年
指導講師	田中 文彦			
授業のテーマ	皆さんの（今）が、どうして造られてきたでしょう。			
授業計画及び内容	<p>クラシック・ジャズ・ロック・ポップス。歌謡曲・演歌・民謡・童謡。          全て、音楽の種類に付けられた名前です。よくご存知だと思います。ところで、それぞれの          [定義]や具体的[説明]はどうかでしょう。実は[民謡・童謡]以外は決まった定義は          ありません。また[クラシック]は、数百年の期間がありますが（ここからここまで）とは          決まっていな、この言葉そのものが極めて新しいものです。これらの名称はなぜ出来たのでしょう？</p> <p>日本の音楽用語は[日本語・英語・イタリア語・ドイツ語]が混在しています。          1例を挙げれば（ハ長調・シーメジャー・ツェードゥアー）この3つは全部同じ意味です。          なぜこんな複雑なことになっているのでしょうか？</p> <p>色々な楽器は、どこでいつ頃誕生したのでしょうか。又、どんな材料でどう作られている          のでしょうか？</p> <p>以上の疑問の答えは[歴史]の中からほとんどが見つかり、また違う興味が湧いてくるでしょう。          授業は、音源や映像などを楽しみながら行っています。</p>			
教材・参考書	無し			
成績評価の方法	出席、授業態度など総合判断。			
履修上の指示事項	ドラムマスタマイザー科の必修授業です。			

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	24	ジャズの歴史とプレイヤー研究	4単位	通年
指導講師	三木 俊雄			
授業のテーマ				
授業計画及び内容				
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	25	合唱	4単位	通年
指導講師	有銘 哲也 / 鶴川 達也			
授業のテーマ	言葉と声と音との調和。			
授業計画及び内容	<p>呼吸法・発声法から斉唱・合唱までを指導します。</p> <p>邦人の作品、宗教曲など日本語の作品から英語ラテン語など、今まで経験していない言語による合唱も体験します。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール</li> <li>●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール</li> <li>●オアシスライブ 会場：国立音楽院1Fオアシス</li> </ul>			
教材・参考書				
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、クラスでの発表、出席率			
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	26	東大式・音響×AIワークショップ(隔週)	4単位	通年
指導講師	秋田 真宏			
授業のテーマ	音を「波」としてとらえる視点を出発点に、音響工学および基礎的な数理を、実験・製作・比較実演を通じて体験的に理解します。			
授業計画及び内容	<p>内容例(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■格付けチェック「イタリア製オールドヴァイオリン(5700万円) vs 中国製新作ヴァイオリン(10万円)」の比較実演 キーワード：振動モード、ヘテロダイン、高速フーリエ変換</li> <li>■格付けチェック「AIが作った楽曲vs 人間が作った楽曲」 キーワード：LLM、ディフュージョンモデル、トランスフォーマー</li> <li>■サブベース(超低音)の世界 ~30Hzの音を「体感」してみよう~ キーワード：高調波歪み、過渡応答特性</li> <li>■手作りナチュラルホルンを作ってみよう キーワード：開口端補正、自然倍音列</li> <li>■MRI・ジェットエンジン・プリンター…日常から見つける「楽器じゃない楽器」グランプリ キーワード：磁歪、磁励音</li> <li>■格付けチェック「フランス製オールドヴァイオリン弓(700万円) vs 中国製ヴァイオリン弓(1万円)」の比較実演 キーワード：周波数特性、スペクトログラム解析</li> </ul> <p>他</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：総合／音楽理論と研究】

番号：学科目名	27	就職に役立つ話し方講座	2単位	半期
指導講師	稲村 透			
授業のテーマ	社会人として必要な、日本語力およびコミュニケーション能力、プレゼン能力の向上を目指す			
授業計画及び内容	<p>1：コミュニケーション力・話をまとめる力の向上                  2：日本語力の向上                  3：プレゼンテーション能力の開発                  4：漢字検定・日本語検定・アナウンス検定・話しことば検定などの資格取得を目標とする演習</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法				
履修上の指示事項				

【学科目区分：作曲アレンジ／シンガーソングライター】

番号：学科目名	28	アナリーゼ	4単位	通年
指導講師	真島 圭			
授業のテーマ	様々なジャンルや時代の音楽を取り上げ、それらの楽曲の仕組みを考えます。			
授業計画及び内容	<p>アナリーゼとは“楽曲分析”という意味です。</p> <p>楽曲がどのように成り立っているかを、様々な観点から勉強していきます。</p> <p>形式は2部形式、3部形式など小さな形式からはじめ、ロンド、変奏曲、フーガ、ソナタ形式まで取り上げ、ポップスの形式などにも言及します。</p> <p>その他さまざまな種類の音階やコード進行にも触れ、曲中の「仕掛け」を読み解いていきます。</p> <p>ピアノ曲やオーケストラ曲、ポップス曲など、幅広いジャンルの曲を取り上げます。</p>			
教材・参考書	適宜プリント配布。			
成績評価の方法	後期に勉強の成果としての作品提出を課す予定です。			
履修上の指示	楽典や和声、コードの知識が備わっているとより理解しやすい授業ですが、曲を鑑賞することが多いので、初心者の方でも受講可能です。			